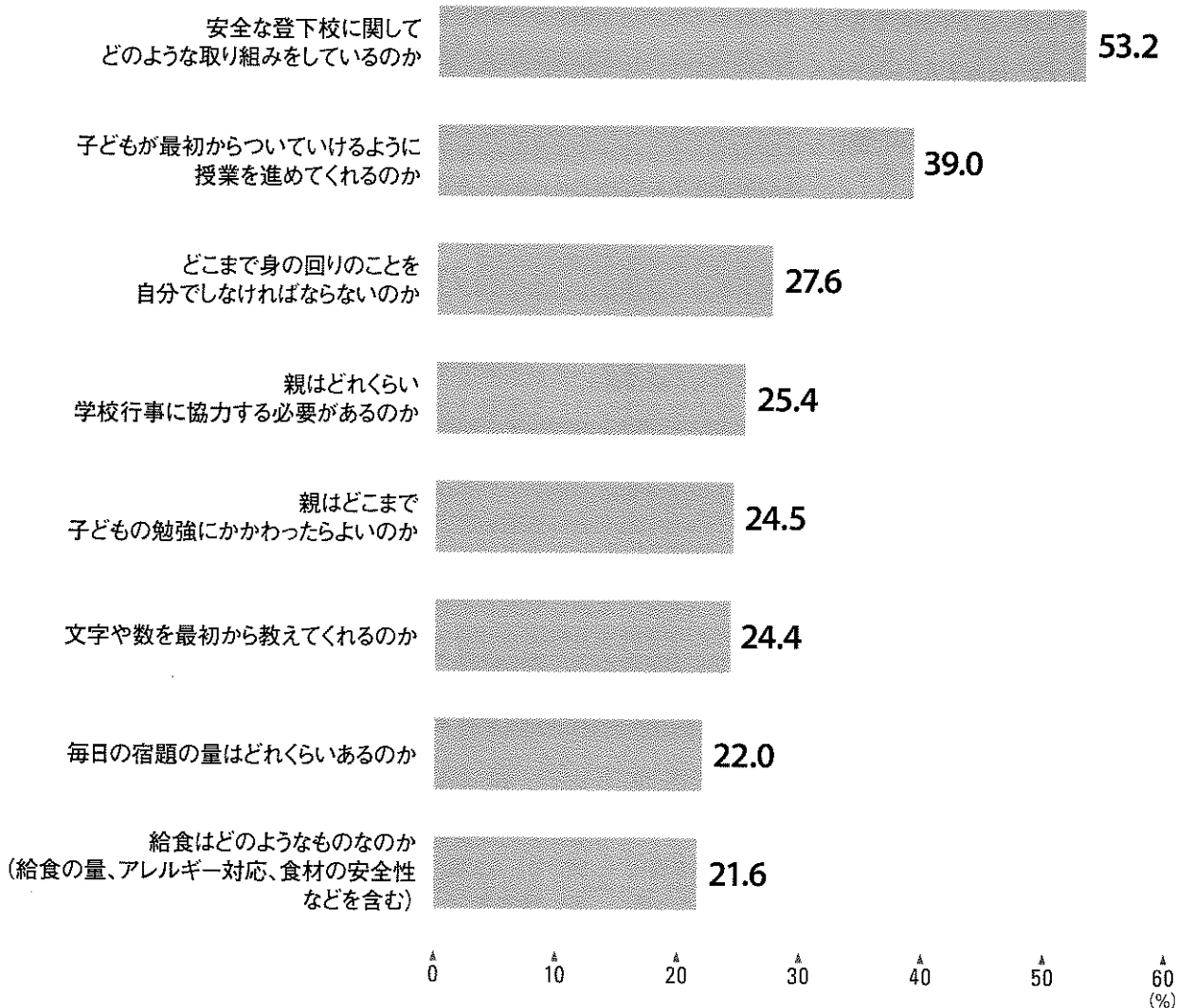


年長児の母親の50%以上が 小学校について知りたいことは 「安全な登下校に関する取り組み」と回答

Q あなたは、お子さまがこれから通う予定の小学校に関して、以下のことについて、どれくらい知りたいと思いますか。

図2 小学校について知りたいこと (年長児)



※年長児をもつ母親1,125名の結果。「とても知りたいと思う」の数値。

★年長児をもつ母親に「小学校について知りたいこと」を聞いたところ、最も知りたいことは「安全な登下校に関する取り組み」でした。次いで、「子どもが最初からついていけるように授業を進めてくれるのか」や「どこまで身の回りのことを自分で

しなければならないのか」についての回答が多い結果となりました。園と小学校では子どもの生活や登下校の方法などが大きく変化するため、小学校の取り組みについての関心が高いようです。

研究員解説

小学生になると送り迎えがなくなることもあり、安全に関して年長児の保護者の関心はおのずと高くなります。しかし、安全に関する不安は、実は入学後も消えるものではありません。子育てにおいて気がかりなことを母親に聞いて

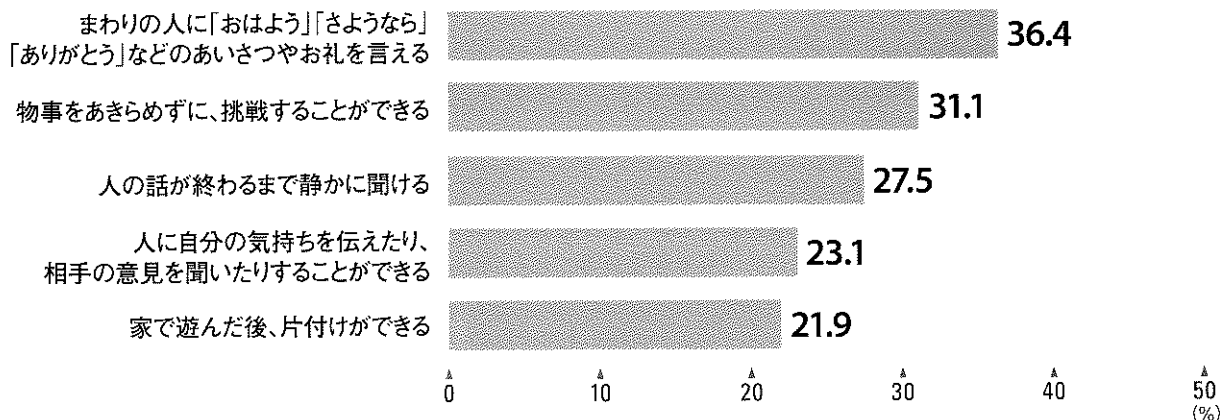
た別の調査では、小5・小6でも「犯罪や事故」が1位 (2位は「整理整頓・片づけ」、中学生では2~3位と高くなっています (1位は「整理整頓・片づけ」あるいは「子どもの進路」)。学校生活に慣れても、安全に対する不安は変わらないようです。(高岡)

入学までに身につけておけばよかったと思うことは「鉛筆の正しい持ち方」と「あいさつやお礼」が多い

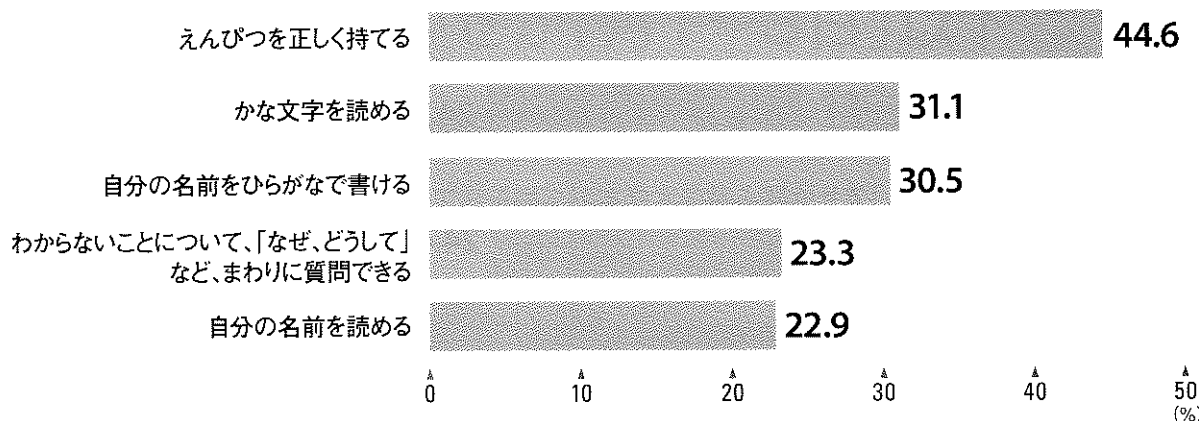
Q 今、振り返ってみると、お子さまが小学校に入学するまでに、身につけておいたほうがよかったと思うことを3つ選んでください。

図3 小学校入学までに身につけておいたほうがよかったと思うこと(3つ)

〈生活態度編 トップ5〉 ※全18項目中、上位5項目を图示。



〈学びの準備編 トップ5〉 ※全11項目中、上位5項目を图示。



※小学1年生をもつ母親1,285名の結果。

★小学1年生の子どもをもつ保護者に、就学前の時期を振り返り、小学校入学までに身につけておいたほうがよかったと思うことを「生活態度」と「学びの準備」に分けて、答えてもらいました。ここでは、それぞれの上位5つを抜粋して紹介します。生活態度編では、「あいさつやお礼を言える」、「物事をあきらめずに、挑戦することができる」「人の話が終わるまで静かに

聞ける」など園でも大事にしていることについて回答する人が多い傾向でした。学びの準備編では、最も高かったのが「えんぴつを正しく持てる」で44.6%でした。ひらがなの読みや書きよりも身につけておけばよかったと思う割合が高いということがわかりました。

研究員解説

あいさつやお礼は、年少の頃から保護者が重視しているしつけであることもこの調査から明らかになっています。保護者も早くから気にかけているけれど、子どもにとって難しく、なかなか身につかないものなのでしょう。「えんぴつ」

「かな文字」に関しては、年少児から年長児にかけて「できている」と評価する保護者が増えているのに、小学校に入ってから振り返るとその割合はやや減少します。授業で鉛筆を使う機会が増えるため、保護者も気にかけるようになるのでしょう。(高岡)

出典：『幼児期から小学1年生の家庭教育調査』(2012)
 調査対象：年少児～小学1年生の子どもをもつ母親
 有効回答数：5,016名
 調査時期：2012年1～2月

調査地域：全国
 調査方法：郵送法(自記式アンケートを郵送により配布・回収)
 調査項目：子どもの生活時間/子どもの学習のレディネス/母親のかかわり/母親の教育観/園・小学校の満足度など